

# 基本の塗床補修ガイド ～ハイパーガード-F～

初めての床補修をされるお客さまに、製品ご購入前に知っていただきたい一般的な「施工の流れ」をご紹介します。実際、施工される場合は、商品に同梱されている『施工の手引き』をよくお読みになって、作業を行って下さい。



## ◆コンクリートやモルタルがボロボロ◆

- ☑ 工具や道具を落としがち。
- ☑ 台車やフォークリフトが通る。
- ☑ 水や油、洗剤を使用。
- ☑ ノンスリップに仕上げたい。

## ポイントは、「道具の準備」と「下地処理」

0

### 道具の準備

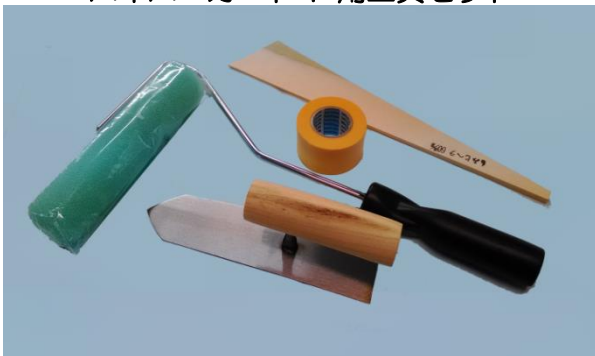
欠損が深い場合やコンクリート、モルタルを補修したい場合は、電動工具のカッターやサンダーのご使用をおすすめします！※手作業での下地処理は、かなりの労力と時間を要します。

初めてのお客さまで、小さな面積の補修や電動工具のご購入は見合わせるといった場合は、下記の道具セットもご用意しております。

特に、下地処理セットの#30 サンドペーパーは、あまり市販されておりません。

研磨力がありますので、床の健康面を出す(劣化していないきれいなコンクリート面まで研磨する)のに最適です。

#### ハイパーガード-F 用工具セット



写真上から

- 木べら(巾 60mm)
- マスキングテープ(巾 30mm)
- 塗膜表面調整用パターンローラー(スモール)
- 金ごて(小)

#### 基本の下地処理セット



写真左から

- ワイヤブラシ
- ハンマー付皮すき
- #30 サンドペーパー (2枚)
- スッキリコン (100ml)

# 1

## 下地処理をする

①写真の場合、欠損がひどいモルタルの補修なので、電動工具を使用して劣化した部分を剥がします。

劣化範囲が想像以上に広がる場合は、施工エリアを電動カッターで四角く見切ってください。

施工範囲が小さく、小さな欠損の場合、「ハンマー付皮すき」(基本の下地処理セットに同梱)とお手持ちのハンマーを使用し、劣化したり浮いているコンクリートやモルタルを叩き割ります。



②電動サンダーで床を研磨し、健康なコンクリート面が出るようにします。小さな欠損の場合は、「#30 サンドペーパー」(基本の下地処理セットに同梱)で擦ってしっかり研磨します。

その後、「ワイヤーブラシ」(基本の下地処理セットに同梱)でゴミをしっかりと掃きだします。



④掃除機でゴミを吸い取ったら、「スッキリコン」(基本の下地処理セットに同梱)をウエスに含ませて油分や細かいゴミを拭き取ります。



# 2

## ハイパーガード-F 混ぜる

①「木べら」(工具セットに同梱)を使用し、主剤と硬化剤をよく混ぜ合わせます。次に、骨材を混合しさらに混ぜ合わせます。詳細は、ご購入後の施工手引きをご覧ください。

### 3

## 充填する

- ①マスキングテープで施工範囲を旧塗膜との境目に貼りつけます。  
※既存の床に補修材ができるだけ被らないように、ギリギリをテープングするのがポイントです！



- ②「金べら」(工具セットに同梱)でよく混ぜ合わせたハイパーガード-F を押し込むように広げます。  
※この時、旧塗膜にハイパーガード-F が重ならないように境目までを対象に塗り広げて下さい。  
旧塗膜にかかると、補修後、剥がれやすくなります。



「パターンローラー」(工具セットに同梱)を使って、表面を転がすと樹脂が浮いてくるので、準平滑仕上げに出来ます。

「パターンローラー」のかけ方で、防滑～準平滑までお好みの仕上がりに出来るのが大きな特徴です。

- ③マスキングテープは、すぐに剥がします。硬化が始まると、剥がせなくなってしまいます。

### 4

## 片づける

- ①「スッキリコン」(基本の下地処理セットに同梱)で、使用した道具を十分拭き取ります。硬化し始めると取れなくなるので、使用后、すぐに拭き取ってください。